

刊行にあたって(抜粋)

本書は「ここ半世紀における日本人を中心としたアフリカ研究の成果を紹介し、これまでのアフリカ研究の俯瞰の見取り図を与えとともに、最新の学術情報を盛り込み、これからのアフリカ研究の手引きとなる出版物」の刊行を目的としています。この50年間、日本におけるアフリカ研究は量的にも質的にも大きく前進しています。研究分野は大幅に拡大しています。それは本書の目次に一目瞭然です。日本におけるアフリカ研究は大きな頂(到達点)にあるといっても過言ではありません。現在までの日本におけるアフリカ研究、アフリカ学のエッセンスが本書一冊に凝縮されています。それは将来のアフリカ研究に引き継がれます。アフリカ研究者にとっても、アフリカ関心者にとっても、必読座右の書です。

アフリカに関心を有する皆さん。本書はアフリカについての知見を求める際に大いに役立ちます。まず自分にとって興味のある項目の解説を読んでみてください。そうすればアフリカではこんなことがあるのかとその内容を知り、それについてどのような調査や研究があるのかを認識することができます。各項目の解説には参考文献が添付されていますから、次に、いくつかの参考文献を選んで読んでみてください。そこまで進めば、アフリカが面白くなります。アフリカを知ることが楽しみになります。

アフリカ研究を志す学生や院生の皆さん。本書はアフリカ研究をする際の必読書になります。自分がやりたいと考えている分野のアフリカ研究について、これまでどのような調査や研究がなされてきたのか、本書によって理解することができます。これについては研究がなされてきたが、あれについてはまだ研究がなされていない、ということがわかります。本書はアフリカ研究志望者にとっては常備の案内書です。アフリカ研究は学際的ですから、専攻分野以外の領域についても広く関心を持っていただきたいと思います。

日本アフリカ学会前会長 川端正久

編集委員代表

寺嶋秀明(神戸学院大学)

編集委員

荒木美奈子(お茶の水女子大学)

板倉英吾(長崎大学名誉教授)

伊谷樹一(京都大学)

遠藤 貢(東京大学)

北川勝彦(関西大学)

木村大治(京都大学)

重田真義(京都大学)

末原達郎(龍谷大学)

高橋基樹(神戸大学)

竹村景子(大阪大学)

水野一晴(京都大学)

山越 言(京都大学)



本事典の特徴

1. アフリカ研究に関わる基本的なジャンルを網羅。全体を人文科学・社会科学・自然科学・複合領域の4つの大分野に、各大分野を5~6つの中分野に分類。
2. 各中分野に総説をおき、当該研究分野の歴史や方法論、一般的知識とアフリカにおける研究の特性、日本人研究者による成果について総合的に解説。
3. 各中分野のもとに総計104の項目を掲載。どこからでも読める見開き完結の構成。

【I 人文科学】

■宗教・思想

伝統宗教／キリスト教／エチオピアのキリスト教／イスラム／思想

■芸術学

染織／民族音楽／ポピュラー音楽／民衆造形／アフリカ研究と博物館／舞踊

■アフリカ文学

ポストコロニアル文学／スワヒリ文学／アフリカ

人作家と日本／南アフリカと文学／口承文学／フランス語によるアフリカ文学

■言語・言語学

ビジン・クレオール／都市言語／ボンゴ・フレパのタンザニア若者ことば／手話

■アフリカ史

先史学・考古学／歴史遺産学／前植民地期／奴隷貿易／植民地支配／アフリカ人とディ

アスポラ／日本とアフリカの関係史／日本に住むアフリカ人の暮らし

■文化人類学

家族と親族／戦争と和解の人類学／王制と無頭制／呪術／都市と農村の人類学／髪型／衣装／物質文化／酒造り／食文化

【II 社会科学】

■政治学・国際関係

紛争と平和構築／民族と国家／アパルトヘイト／アフリカ国際関係／地域機構、移動する人々

■経済学

実証ミクロ経済研究／企業研究／経済開発と経済政策／アフリカとグローバル経済

■農業経済・農村社会学

農業経済学／地域社会学／農業と農村社会／漁業と漁村社会／フェアトレード

■地域開発・国際協力

国際協力——ODAとNGO／障害者／先住民運動

■教育学

教育援助／初等教育／中等教育／高等教育

■ジェンダー

文学とジェンダー／歴史とジェンダー／人類学とジェンダー／アプロダクティブヘルスとジェンダー—エイズとFGM／政治とジェンダー／開発とジェンダー

【III 自然科学】

■地質学

地震活動／火山活動／動物化石

■自然地理学

熱帯アフリカの気候と環境の変動／アフリカ大地溝帯／サバンナ／熱帯林／砂漠と砂漠化

／シロアリ塚

■生物学・生態学

昆虫／動物による種子散布／生物多様性ホットスポット

■霊長類学

チンパンジーの文化的行動／ボノボ／ゴリラ／オナガザル属と混群

■古人類学

猿人／化石と同位体分析



【IV 複合領域】

■医学・保健医療

■生態人類学

狩猟採集活動の生態／農耕活動の生態／牧畜活動の生態／漁撈活動の生態／地球環境問題と生態人類学／エスノサイエンス／ヒューマンエコロジー／インタラクション研究

■農学

土壌／栽培植物

■地域研究

東アフリカ——牧畜と社会変容／東アフリカ——農村と開発／北東アフリカ／南部アフリカ／中部アフリカ／西アフリカ／北アフリカ

■人文地理学

■自然保護

野生動物観光／自然保護区と世界自然遺産／野生動物の違法取引とサンクチュアリ